

観光列車による沿線地域活性化の取り組み

要旨本文

経営に苦しむ地方鉄道にとって観光列車の運行は地域鉄道の経営改善と沿線地域の活性化の手段として脚光を浴びている。しかし、実際に観光列車の運行が、鉄道会社の経営にどれほどの好影響をもたらし、地域経済にどれほど貢献するのかは明らかではない。本研究では、過疎化や少子高齢化によって厳しい経営に迫られている地方ローカル線において、観光によって、鉄道事業者と沿線地域の活性化を目的とした観光列車の有意性を証明するために、先行研究の収集や実際に観光列車の運行を行っている鉄道事業者へのインタビュー調査を行った。インタビューなどから鉄道事業者と沿線地域の良好な関係のもと、ターゲット層のニーズにあったサービスが提供できる観光列車は作られると考えられた。その観光列車を活用することによって、観光客を呼び込み、持続的な運行をすることで、鉄道事業者の新たなビジネスモデルの確立や地域の活性化に貢献できると証明できた。